

健康で 働く喜び いつまでも

シルバーひがしくるめ

2020年2月 107



2013年2月 撮影 巖 渕

< 目 次 >

新春のつどい.....	2	ボランティア活動紹介.....	7
新年のご挨拶.....	3	対外組織との交流.....	8
就業会員の声.....	4	お客さまの声.....	9
研修会報告.....	5	秋の日帰りバスツアー.....	10
安全就業への取り組み.....	6	趣味の広場.....	11
		広報部会活動／入会説明会／編集後記.....	12

新春のつどい

令和2年1月29日(水) 成美教育文化会館グリーンホールで開催

会長挨拶



会長
名和 卓良

来賓の皆様からの祝辞



東久留米市長
並木 克巳様



東久留米市議会議員
富田 竜馬様



東京都議会議員
細谷 祥子様



東京都議会議員
原 紀子様

乾杯



副会長
永瀨 充子

踊りや歌、そして楽しい演奏を披露していただきました



日本舞踊
須藤 清子さん



ジャズ・ポップス
鈴木 実穂さん



サックスバンド
トロア ドロップス

SKC

(シルバーカラオケサークル)

安尾 賢一さん他

美声で盛り上げて
いただきました



会場の様子



全員で大合唱

新年のご挨拶

東久留米市長
並木 克巳



東久留米市シルバー人材センターの皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、貴センターにおかれましては旧年中も就業やボランティア活動を通じて、地域貢献に大きな力を発揮していただいたことについて感謝申し上げます。

昨年は令和という新しい時代が始まり、今年は東京オリンピック・パラリンピック開催の年となります。東久留米市においても7月15日の2番目に聖火リレーが行われます。詳細はホームページ等に掲載しておりますが、滝山球場をスタートし、東久留米市役所がゴール地点となりますので、皆様ぜひ沿道に足をお運びいただければと思います。

さらに、今年は東久留米市市政50周年の大きな節目を迎えます。市全体で祝うとともに、市の魅力を広く発信し、当市への愛着をさらに深めていただきたいと思います。

さて、当市において、65歳以上の高齢化率は1月1日現在28.37%、75歳以上は15.49%となっており、今後も上昇が見込まれております。超少子高齢化によって労働人口が減少していく中、貴センターは、「生涯現役社会」の実現に大きな役割を果たされています。また、高齢者の生きがいづくり、地域社会の活性化、健康寿命の推進に寄与されており、当市において重要な位置付けにあるものと考えております。私も、市民の皆様からのご要望に応えるべく、引き続き市政運営の先頭に立ち、皆様とともに夢と希望の持てる元気なまちづくりの実現に、前向きにポジティブに取り組んでまいります。

結びに、貴センターの今後の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

東久留米市シルバー人材センター会長
名和 卓良



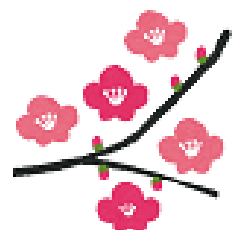
年が改まり早や令和2年となりました。会員の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は関東も台風などの自然災害の脅威にさらされましたが、

今年は東京オリンピック・パラリンピックも半年後に開催の運びとなり、明るく、良い年であってほしいと願っています。

さて、全国のシルバー人材センターの会員数は減少傾向から下げ止まり傾向となっており、会員増となっているセンターも少なくありません。当センターも市民の方にシルバー人材センターを積極的にPRするなど会員増強へ向けて一步一步進んでいく年にできればと思います。

しかしながら、足元では傷害事故、特に転倒事故・自転車事故が多発しており、事故防止が急務となっています。今年度はいわゆるもらい事故が多発しており、信号が青でもさらに安全を確認するなど身を守る行動をお願いしております。また、このところお客様からのクレーム・トラブルが増えています。常識的なビジネスルール・マナーに基づいて就業していただき、日常と異なる際は事務局に相談していただくようお願いする次第です。

当センターではいろいろな課題がありますが、一つひとつ乗り越え、将来の発展につなげていきたいと思っております。最後になりましたが、本年が皆様にとって明るく幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



就 業 会 員 の 声

石の上にも三年？

植木班 加藤 周平



《屁理屈を捏ね飽きし我が小さな
さよ》 古希を過ぎた昨春、同時に己が老骨がコキコキときしむのを覚えるや、「ははア、これで古希というのか」などと愚にもつかぬ駄ジャレを呟きながら、能天気にも植木班という「新世界」に飛び込んでいました。
はたしてそこは：我が半生とは三百六十度引っくり返った世界であり、不器用な自分には、身体と頭の両方を連携させる、まさにニューワールドでした。それからしかし1年足らず、外出時には思わず他人様の庭に見入り、「あれはキンモクセイ」「これがサザンカ」と品定めしているのが、その当人であることに驚いています。

さて、いぶし銀の働きという形容があります。いぶし銀とは、燻した銀、つまりはシルバーのことにほかなりません。では、具体的にどういう働きなのか。百聞は一見に如かず。就業現場で繰り広げられる先輩各位の流れ作業とチームワークに、それは見てとることが出来ます。

石の上にも三年。とはいっても

の、未だ清掃の手順すら完全には呑み込めず、おまけに高所恐怖症の己に諺どおりの辛抱ができるものやら：。

せめて心の支えに、次の駄句を肝に銘じておきます。

《いぶし銀われらシルバーの誇りかな》

《いつの日かシルバーの星オレだつて》



私の就業の歩み

五十嵐 きよみ



平成22年に入会して、まず初めての仕事は、週2回小学1年生の帰宅時の付き添いでした。

その後、家事援助として、父親ほどの歳の方のお宅に7年間買い物などで通いましたが、大変博識で教養、気品のある方で、また優しく接して下さり、人としての在り方を沢山学ばせて貰いました。

その他、保育園児のお迎えと夕食のお世話をする仕事もありました。このお子さんは0歳から保育園に通っていたせいか、自立心が強く、食事もしっかり1人で出来るので、私は傍らで見守る形でした。

ここでは遊びの絵本やDVDも英語が多く、最近の英才教育の一端を垣間見た思いで、大変驚かされました

私には孫が5人おり、よく面倒をみていたので、この仕事は全然苦にはなりませんでした。

数年前から市報の配布も受け持ち、うだるような暑さや北風の中を届けるのは大変な作業ですが、「苦勞様」のひとつで、疲れが吹き飛んでしまう喜びもあります。

最近、家事援助で、月に1回個人宅に伺い、風呂場や台所などのお掃除をやっています。

この方は86歳の女性で、習字の先生や会社経営もされていましたが、驕る事もなく、いつも大変気を遣って下さり、人生の大先輩としてのお話を伺ったり、と良い経験を得ています。

シルバー就業では、得るものが沢山あり、入会して本当に良かったと思っています。



研修会報告

役員・地域班長研修会

(令和元年 9 月 26 日 於 市民プラザ)



前沢地域 菌田班長

日頃、情報回覧の配布を中心に、様々な地域班活動にご尽力頂いている班長さんより、他地域との繋がりが欲しいとの声があり、今回は班長同士の情報交換と交流の場として、懇談会形式で開催されました。

会に先立ち、前沢地域の菌田・田中各班長より、スライドを使って、市内巡りやカラオケ、遊歩道清掃など前沢独自の活動が、地域活動のヒントの一助として紹介されました。



懇談会

懇談会では地域活性化・会員増強・地域の問題点などが話し合わせ、問題意識の共有化が今後の地域班活動への取り組みに活かされる事を期待して閉会となりました。



会長挨拶

リーダー 68 名と役員 12 名の総勢 80 名が、事務局会議室と西団地集会所を使って研修会を行いました。

名和会長より、適正な就業を行なうための心構えとお客様の状況変化によるシルバーに対する厳しさの現状説明がありました。その後、事務局からの「リーダーの役割について」の講話に続き、7 班に分かれてグループディスカッションが行われました。各グループから和やかな中にも積極的な意見が続出し、改めてグループの役割が共有化されました。



全体会議



懇談会

2 部として、全員でテーブルを囲み、軽飲食で親睦を深めて会は終了しました。



個別グループ討議

仕事別グループリーダー研修会

(令和元年 10 月 29 日 於 当センター会議室)

安全就業への取り組み

安全管理委員会活動

当センターでは、会員の皆様の安全就業と健康に対し、様々な対策を実施してまいりました。

昨年、体力測定会と、田無警察署の協力を得て、座学と実地練習を組合わせた自転車講習会、車両運転講習会を行いました。その他、安全パトロール、標語の募集などに取り組みました。

今年も種々の行事を計画・実施してまいりますので、皆様の積極的な参加をお願いします。

職場安全パトロール

(令和元年 6 月 18 日)



自転車安全講習会

(令和元年 11 月 26 日)



体力測定会

(令和元年 10 月 31 日)



ボランティア活動紹介

ボランティア活動について

公益社団法人として、地域社会と連携を保ちながら、会員のキャリアを生かして『活力ある地域づくり』に寄与することを目的とし、年間を通して、地道に地域・社会貢献活動を行っています。

内容は多岐にわたり、学校ボランティア（校庭の除草、花壇の手入れなど）、川や公園、遊歩道の清掃ボランティア、交通安全ボランティア（通学路の誘導、踏切見守り）、東久留米七福神めぐり、環境美化マナーキャンペーン、東京マラソン祭り応援ボランティア、など様々な場面で頑張っています。

仲間づくり、健康づくりを兼ねた楽しい活動です！是非一緒にどうぞ！

七福神めぐり 道案内ボランティア

・今年も各所で活動を行いました・



踏切見守り活動



沢山の方が楽しく活動しています



対 外 組 織 と の 交 流

市議会厚生委員との懇談会

副会長・総務部会長

永渕 充子

(令和元年10月24日 於 当センター会議室)

当センターでは、東久留米市議会厚生委員の方々と役員による懇談会を定期的(現在隔年)に開催しています。

市議会の委員会の一つである厚生委員会は、「社会福祉、保健衛生に関することなど」を所掌事務としており、シルバー人材センターに関することもその一つです。

現厚生委員会は、間宮美季委員長以下8名の委員により構成されており、当日は全委員のご出席を頂き、当センター役員(理事・監事)12名との懇談を行いました。



まず、センター紹介ビデオで会員の就業実態やボランティア活動などを見て頂き、地域社会に根差し、その活性化に貢献していることなどをアピールしました。

その後、当センターの抱えている課題等について意見交換を行ない、一層のご理解とご協力を求めました。

今後とも継続して懇談会を持ち、連携を深めていきたいと思ひます。

認知症対策講習会

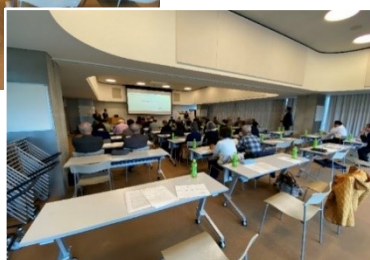
理事 清水 晴美

(令和元年11月19日 於 武蔵野プレイス)

昨年開かれた第5地域シルバー人材センター主催の講習会(講師 日本赤十字病院 認知症看護認定看護師 鬼澤 直人氏)に、理事10名が参加しました。

私達もいよいよ学ぶべき年齢かと、自分の最期がどのように認知症と繋がるのか不安ながら拝聴しました。

毎年敬老の日が近づく、テレビ等で流れる認知症の映像を観ては、切なく考えさせられています。日本の高齢者が要介護状態や寝たきりになる理由の第1位は「認知症」とか。脳の老化による物忘れから緩やかに進行、90歳以上になると、2人に1人は発症とか。早期発見と、より良い療養環境の中で過ごすことで健康な状態に戻るそうです。



人生百年時代と言われる今日、明日は我が身と意識して、前向きに生きましよう。
お気軽にご相談下さい!

認知症相談窓口・連絡先
武蔵野赤十字病院
認知症相談専用ダイヤル
☎0422(30)5697
(受付 平日9時~17時)

お客様の声

滝山第二住宅管理組合

理事長 福島 純子 様



シルバー人材センターの皆様には、団地内の清掃などを委託し、大変お世話になっております。

滝山第二住宅は、築50年を過ぎました。昭和の時代に

建てられた公団の分譲住宅で、現在は管理組合による自主管理を行っております。

棟と棟の間が広く、なだらかな起伏を残した共有地に、四季折々の樹木が植えられた当団地では、2月には梅の

香が漂い、4月には桜の花吹雪、ケヤキの新緑、盛夏には木陰をつくり、秋は黄金色の紅葉を見ることが出来ます。

このような豊かな自然環境を維持できるのも、シルバー人材センターの皆様のおかげと思っています。

夏場、炎天下の作業や台風後の後片付けに加え、冬の寒風吹く時も、手押し車にお掃除道具をセットして、団地の隅々までお手入れして下さい。大変感謝いたしております。

長く住み続けられる滝山第二住宅を維持するために、シルバー人材センターの皆様は欠かせないパートナーです。今後もよりしくお願いいたします。



滝山第二住宅管理班 メンバーの皆さん

秋の日帰りバスツアー

都内の秋を楽しみました

【今回の見学場所】・東京都慰霊堂／東京都復興記念館・柴又 帝釈天
・築地 すしざんまい（昼食）・浜離宮恩賜庭園



東京都慰霊堂



柴又 帝釈天



参加者の声

- ・お世話になりました
お蔭様で美味しいお寿司を堪能できて、満足でした！
- ・渋滞の為、各名所がじっくり見られなかったのは残念！
でも築地の買い物はしっかり出来たので良かった



築地 すしざんまい



浜離宮
恩賜庭園

雪吊や
ビル風の音
聞きみたり
(会員作品)

趣味の広場



私とラグビー
金原 修

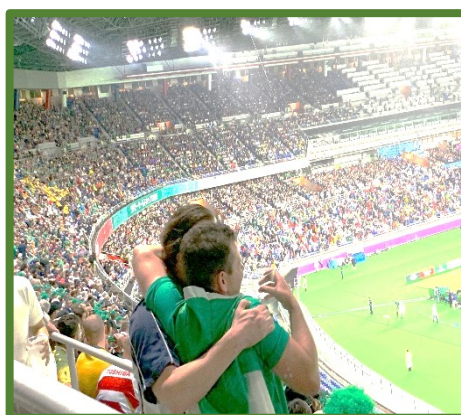
私のラグビー歴は中学3年生から始まりました。本格的に始めたのは高校からです。3年の時はキャプテン、大学の4年間は苦楽の日々でした。以後高校の教員時代は監督を務め、退職するまで51年間関わっていました。(自身が選手として出た全国教員大会では準優勝、ポジションはNo.2フッカーでした)

昨年のワールドカップは息子と全ゲームを観戦する為、味の素を始め、大阪花園、大分など7会場に行きましたが、残念ながら釜石は台風19号で中止でした。



釜石市街の様子

スコットランド対アイerland戦で、サポートがゲームを楽しみだけでなく、観戦自体を楽しんでいること、例えば、互いのサポーターが私の目の前で、握手やハグなどで楽しんでいて、大変感激しました。



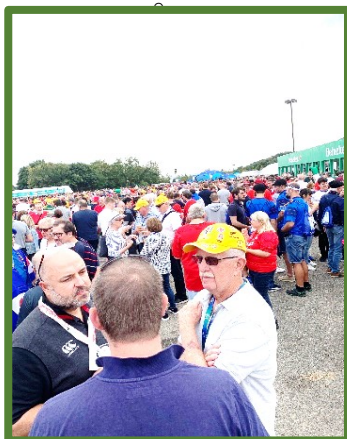
釜石では台風19号の為試合は中止でしたが、もう一つの目的である復興の様子を見に、夜の台風の中を出掛けました。そこでは、食事をしながら、ある中学校のコーチや柔道の方々とラグビーの話で盛り上がりました。

釜石のホテルでは、フロントにあるテレビを囲み、日本やニュージーランドのご夫婦、朝風呂で会った方や私達2人みんな一緒に、他会場の試合を観戦しました。スタジアムに着くと、いろいろな国の人がいる所に、大会本部の方が「試合が中止になったので、大漁旗を振って欲しい」と旗を百本持つてこれ、皆さんで振ったのが、一番印象に残りました。



本人(左端)と息子さん(右端)

大分では、釜石で知り合った夫婦と偶然出会い、ゲーム後に食事に行った店ではウェールズ、イングランドの方々がいて、国歌ではなくいろいろな応援歌を歌っているのが羨ましかったです。ジャパンを応援する歌がなかった。



夏のパラリンピック、オリンピックのラグビーも是非応援に行きましょう!

広報部活動

シルバー人材センターでは、次のような広報活動を行っています

◆ホームページの維持管理

月2回発行される回覧情報や関連情報をタイムリーに更新

◆会報・まるごと情報源発行

年2回の「会報」と年1回「まるごと情報源」を発行

◆入会希望者説明会開催

毎月第3水曜日センター2階で「入会説明会」を実施

◆地域班長研修会実施

地域班長の活動課題等について、事例報告や意見交換を実施



◆外部イベントへの参加

イベントに積極的に参加、センターの紹介や入会案内を実施

○令和元年11月に開催された「東久留米市市民祭り」に参加しました。案内ブースを設け広報活動を行いました。



編集後記

令和2年を迎え、世界の平和と人類の幸福を願いつつ、シルバー人材センター全会員が、明るく元気に笑いのある日々を過ごせる一年でありますように願望します。

平成31年の新年を迎えた昨年、5月に「令和」となった年号が、ようやく馴染んできました。今年は何といってもオリンピックの年、人生に2度も見る事が出来、とても楽しみです。

今回発行の会報誌、お手元に届きどのような感想をお持ちでしょうか？ 次号の参考とさせて頂きたく、お声をひとこと、編集委員会にお寄せ下さい。さらに向上させて満足のいく会報誌作りに役立てたいと思います。

本年もご協力を宜しくお願い致します。

鬼は外、福は内と邪気を払い終えた今、穏やかな春が待ち遠しいですね。
(清水)



令和2年3月以降の入会説明会日程表

<原則毎月第3水曜日 13:30～ シルバー事務局2F>

令和2年 3月18日(水)	令和2年 5月20日(水)	令和2年 7月15日(水)
令和2年 4月15日(水)	令和2年 6月17日(水)	令和2年 8月19日(水)

シルバー人材センター ホームページから会員登録(仮入会)をされた方は、センターでの手続きが約1時間程度で済むようになりました。

シルバーひがしくるめ107号 2020年2月発行
公益社団法人 東久留米市シルバー人材センター

編集委員会

〒203-0043東久留米市下里四丁目1番44号

☎ 042-475-0738 FAX 042-473-7730

<http://www.sjc.ne.jp/silver/>

